

平成23年1月27日

立教大学との産学連携協定に基づく「観光活性化プロジェクト」第3弾

「行田まち歩きマップ ～ぶらって行田～」の作製・配布について

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）では、立教大学（総長 吉岡知哉）との産学連携協定に基づく取組みとして、「行田まち歩きマップ ～ぶらって行田～」を作製、平成23年2月4日（金）より、当行本支店のほか、埼玉県庁、行田市役所、行田商工会議所、秩父鉄道全駅及びJR高崎線 熊谷駅・行田駅におきまして配布を開始いたしますので、お知らせします。

当行では、立教大学との産学連携協定（平成19年7月締結）に基づく具体的な取組みとして、平成20年1月、観光学部との連携による埼玉県の観光活性化プロジェクト「埼玉 地域交流フットパスプロジェクト」を策定いたしました。

本プロジェクトでは、県東部地域における「まち歩き」の誘致を目的として、幸手市、羽生市を対象としたまち歩きマップ「ぶらって幸手」（平成20年度）、「ぶらって羽生」（平成21年度）を作製いたしました。このたび、まち歩きマップの第3弾として、行田市を対象とした「ぶらって行田」が完成いたしました。

行田市は、さきたま古墳、忍城、古代蓮に代表される豊富な観光資源のみならず、歴史あるまち並み、蔵の間を抜ける小路等、まち歩きの楽しさも感じられる地域です。「ぶらって行田」は、観光学部の学生が現地調査を繰り返した結果、興味を持ち、面白いと感じたものの中から、「懐かしさ」や「はじめて」をキーワードに様々な内容を盛り込み、作製したものです。

なお、「ぶらって行田」を使用したまち歩き誘致活動は、今後、地域で持続可能な観光活性化事業として、地元の皆さまに受け継いでいただく計画です。これにあたり、平成23年2月4日（金）、「『ぶらって行田』マップ完成披露・贈呈式（※）」を開催いたします。

当行では、今後も産学連携による観光活性化等、様々な地域振興への取組みを通して、埼玉県の発展に貢献してまいります。

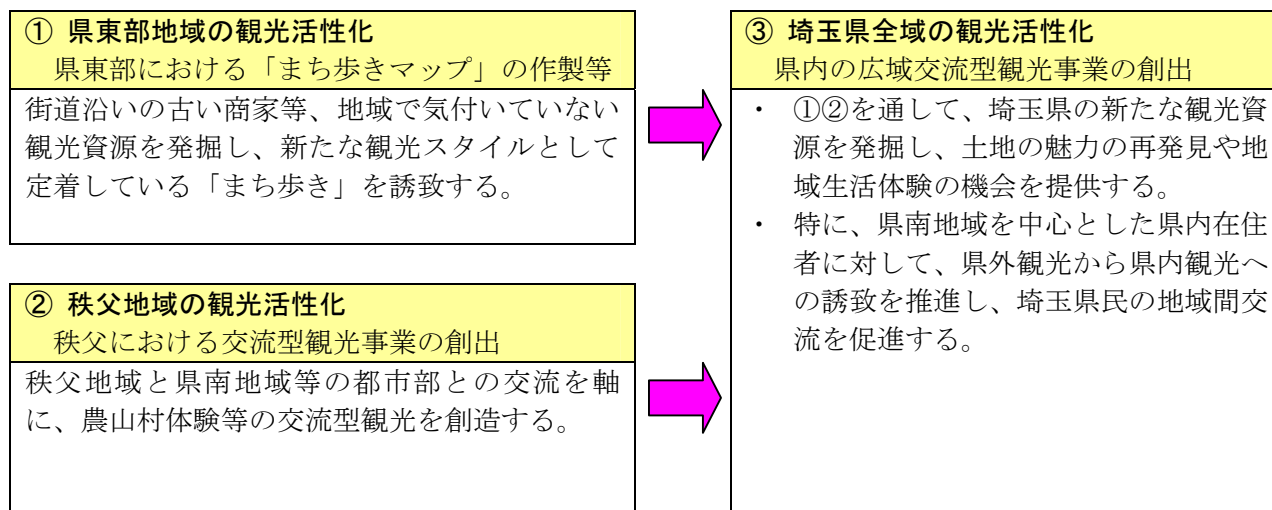
※ 「『ぶらって行田』マップ完成披露・贈呈式」について

日時	平成23年2月4日（金） 13:00～15:00
会場	行田市商工センター（行田市忍2-1-8） TEL 048-553-0510
内容	① マップ完成披露・贈呈式 「ぶらって行田」を披露し、当行と立教大学から行田市へ贈呈する式典を開催いたします。 ② まち歩き会 式典終了後、立教大学の学生がガイド役となり、「ぶらって行田」を使用して参加者を案内する「まち歩き会」を実施いたします。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
営業推進部 コンサルティンググループ 横田
TEL (048)641-6111 (代) 内線 2407

1. 『埼玉 地域交流フットパスプロジェクト』について



2. 『行田まち歩きマップ ～ぶらって行田～』について

<p>コンセプト</p>	<ul style="list-style-type: none"> さきたま古墳、忍城、古代蓮に代表される豊富な観光資源のみならず、歴史あるまち並み、蔵の間を抜ける小路等、まち歩きの楽しさも感じられる「行田市」を選定。 新たな観光として注目されている「まち歩き」を誘致し、地元住民であっても、普段気付かない隠れたまちの魅力を発見する楽しさを提供する。
<p>特長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 立教大学観光学部の学生が中心となり、学生が実際に何度も行田市街を歩き、現地調査を行い、行田のまちの魅力を発掘し、コンセプトやデザイン等を決定。 学生が地域活性化に重要とされる「若者」、「よそ者」の視点で、掲載店舗や商品等を選定。 行田のまちを歩く人をイメージした様々な「まち歩きキャラクター」を創出し、各キャラクターがお薦めのまち歩きコースを紹介。 行田市内には、無料のレンタサイクルも豊富にあることから、自転車で巡るコースも設定。
<p>仕様</p>	<p>A4版 中綴じ8ページ</p>
<p>印刷部数</p>	<p>初版4万部</p>
<p>配布開始</p>	<p>平成23年2月4日（金）</p>
<p>配布場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵野銀行（全店、法人オフィス） 立教大学 埼玉県庁 行田市役所、行田商工会議所、埼玉県利根地域振興センター 秩父鉄道（全線35駅） JR高崎線（熊谷駅、行田駅の2駅）